

## 平成23年度 決算 累積赤字額を解消 (累積黒字額7百万円)

市民の皆さんのご協力を得ながら、新たなプラン二年目となる平成23年度の行政改革については、約2億71百万円の効果額を挙げることができました。

歳入においては、市税収入の増加や地方交付税総額の前年並みの確保に加え、国の緊急雇用創出補助金や繰越財源である臨時的交付金などを効率的に予算編成へ反映し、歳出においては、プラン項目でもある「定員管理の適正化」をはじめ、公債費の減少などの要因により、平成23年度の単年度収支は昨年度より約59百万円多い約3億百万円の黒字となり、平成16年度以降の累積赤字額を解消することができました。

そして、今回市民の皆さんにお知らせするのが、平成23年度決算を基にした図中(B)のラインです。

平成23年度決算は7百万円の累積黒字となり、昨年6月時点で想定していた収支見直し図中(A)のラインに比べ、約2億5百万円収支が良くなっております。

しかし、平成24年度以降は、市税の減収が見込まれることや地方交付税総額の安定的確保が不透明であることに加え、今後防災・減災対策や学校等公共施設耐震化などの計画的整備をはじめ、各特別会計および自動車運送事業会計への繰出金、扶助費などの増加が見込まれており、依然予算を許さない状況です。

なお、今回お示しする図中(B)のラインについては、現時点での結果および予測に基づくものであり、今後における国の政策方針・予算編成動向や社会経済情勢で大きく変わることも想定されます。

今後も市民の皆さんのご協力のもと  
小松島市行政改革「集中改革プラン」  
(第二幕)を推進します。

### 平成23年度 健全化判断比率の状況 (速報値) 単位(%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	(0.07) -	(10.98) -	算定中	算定中
早期健全化基準	13.53	18.53	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

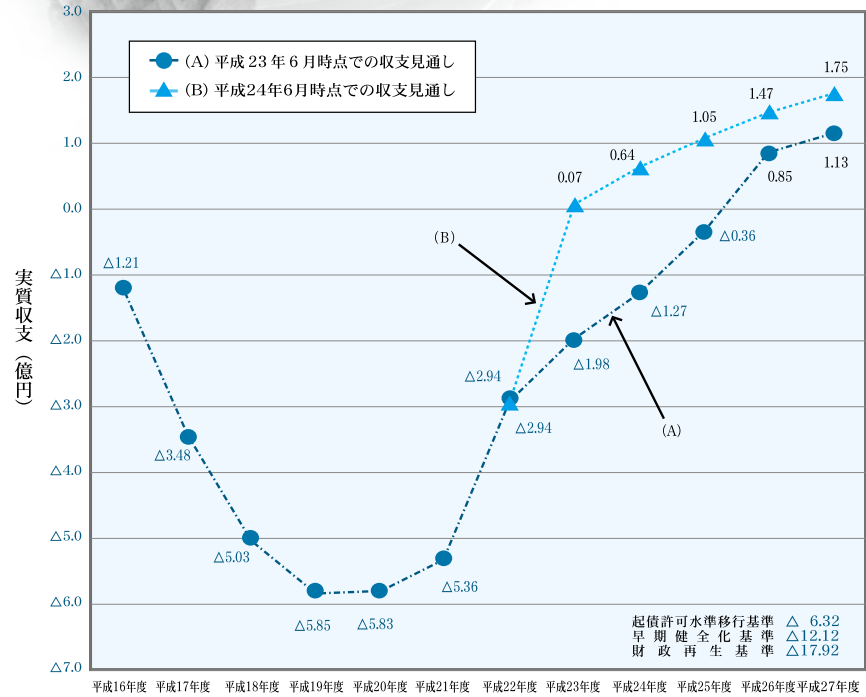
### 平成22年度 健全化判断比率の状況 単位(%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
健全化判断比率	3.29	(5.70) -	19.1	136.7
早期健全化基準	13.54	18.54	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	35.00	35.0	

※実質/連結実質赤字比率は、比率が-（マイナス）時には数値として現れないため、黒字の比率を表示。



### 「集中改革プラン」計画における 財政収支の推移 (普通会計ベース)



国の平成24年度地方財政対策の一環として、全国的にも緊急に実施すべき防災・減災対策事業費の特別枠が予算計上されており、本市の平成24年度当初予算編成にも反映しております。

引き続き、来年度当初予算編成に向けてもこうした国の予算編成動向などを注視し、情報集約を図りながら、財政運営の効率化の観点からも、財政健全化を推進していく必要があります。

今後における歳入動向などが不透明な状況も見据え、引き続き「継続的な単年度収

支の黒字化」および「人口減少社会にも対応した持続可能な行政システムの確立」を基本目標に据えた、小松島市行政改革「集中改革プラン」(第二幕)を推進していく必要があります。そのためには行政だけでなく市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。

こうしたことから、今後とも市民の皆さんには積極的に情報提供を行うとともに、対話を基調とした市民参加型の市政運営に努めてまいりますので、今後もよろしくお願いたします。